

**松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業務委託  
プロポーザル実施要領**

令和 6 年 1 0 月

松 本 市

## 目 次

|    |                            |    |
|----|----------------------------|----|
| 1  | 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1  |
| 2  | 業務の概要・・・・・・・・・・・・・・・・      | 1  |
| 3  | プロポーザルの参加資格要件・・・・・・・・      | 2  |
| 4  | 日程（予定）・・・・・・・・             | 4  |
| 5  | 実施要領等の配布・・・・・・・・           | 4  |
| 6  | 質疑の受付および回答・・・・・・・・         | 5  |
| 7  | 現地見学会・・・・・・・・              | 5  |
| 8  | 審査方法・・・・・・・・               | 6  |
| 9  | 第一次審査・・・・・・・・              | 6  |
| 10 | 第二次審査・・・・・・・・              | 9  |
| 11 | 設計委託業務の契約・・・・・・・・          | 12 |
| 12 | 提出書類の取扱い・・・・・・・・           | 12 |
| 13 | その他留意事項・・・・・・・・            | 13 |
| 14 | 工事受注資格の喪失・・・・・・・・          | 13 |
| 15 | 計画地の概要・・・・・・・・             | 13 |
| 16 | 計画概要・・・・・・・・               | 14 |
| 17 | 学校施設の在り方について・・・・・・・・       | 15 |
| 18 | 技術提案を求めるコンセプト・・・・・・・・      | 17 |
| 19 | 委託内容・・・・・・・・               | 17 |
| 20 | 参考資料 施設台帳（配置図、平面図）         | 18 |

### 【別紙】

- ・ 資料 2 【仕様書】 松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業務
- ・ 資料 3 【特記仕様書】 松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業務

### 【様式】

- ・ 資料 4 公募型プロポーザル様式集（様式第 1 号～13 号）

# 松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業務委託 公募型プロポーザル実施要領

## 1 目的

丸ノ内中学校の校舎が、昭和26年3月から昭和32年3月にかけて建設され、建築後67～73年が経過し、老朽化が進んでいることから、令和3年に策定した「松本市学校施設個別施設計画」に基づき、改築を行うものである。

新しい時代の学びの姿として、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「令和の日本型学校教育」の構築が求められている。

丸ノ内中学校校舎の改築は、松本市でこうした学びの実現に向けて改築する初めての学校となることから、基本計画・基本設計業務を委託するにあたり、本業務を適切に遂行する設計能力・技術力、実績、高度な発想力等を有する最適な契約候補者を選定することを目的とする。

なお、選定の手続き等については、「松本市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」に基づき、必要な事項を定めるものである。

## 2 業務の概要

### (1) 業務名称

松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業務委託

### (2) 業務内容

本事業に係る基本計画および基本設計

業務詳細は、**仕様書（資料2）**、**特記仕様書（資料3）**のとおり

### (3) 履行期間（予定）

業務委託契約締結の日から令和8年3月16日（金）まで  
（令和6年～令和7年度継続事業）

### (4) 計画建物

|        |             |
|--------|-------------|
| ア 建物名称 | 松本市立丸ノ内中学校  |
| イ 所在地  | 松本市宮渕3丁目6-1 |
| ウ 建物用途 | 中学校         |
| エ 敷地面積 | 約24,088㎡    |
| オ 改築面積 | 約5,300㎡     |

### (5) 委託金額（上限額）

40,220,000円（消費税および地方消費税含む）

### (6) 事務局

|          |                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 郵便番号   | 〒390-8620                                                                               |
| イ 所在地    | 長野県松本市大手3丁目8番13号（大手事務所4階）                                                               |
| ウ 部署名    | 松本市教育委員会学校教育課学校施設担当 担当：横山                                                               |
| エ 電話番号   | 0263-33-9847                                                                            |
| オ FAX番号  | 0263-34-3206                                                                            |
| カ E-mail | <a href="mailto:g-kyoiku@city.matsumoto.lg.jp">g-kyoiku@city.matsumoto.lg.jp</a>        |
| キ 市HP    | <a href="https://www.city.matsumoto.nagano.jp">https://www.city.matsumoto.nagano.jp</a> |

### 3 プロポーザルの参加資格要件

#### (1) 参加者の資格等

プロポーザルへの参加資格は、プロポーザル参加表明書類の提出期限である令和6年11月25日(木)において以下の要件をすべて満たす者とする。また、契約締結までの間に参加資格を失った場合は、その時点で失格とする。

| 区分 | 参加者の資格等                                                                                                                                                                           |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①  | 松本市建設工事入札制度合理化対策要綱（昭和42年2月6日告示第11号）第8条に基づく、建設コンサルタント入札参加資格者名簿の建築コンサルタント業務に登録されている者であること。                                                                                          |
| ②  | 建築士法（昭和25年法律第202号）第23条の3第1項の規定に基づく一級建築士事務所の登録がある者であること。                                                                                                                           |
| ③  | 建築士法第5条の規定による一級建築士免許の登録がされている者を4名以上自社で雇用していること。ただし、当該一級建築士は、全て公告日以前3か月以上の恒常的な雇用関係にあること。                                                                                           |
| ④  | 管理技術者は、一級建築士免許の登録がされている者（公告日以前3か月以上の恒常的な雇用関係にある者）1名を配置できる者であること。<br>担当主任技術者は、意匠、構造、電気設備、機械設備の各分担業務分野（以下、「各分野」という。）ごとに1名もしくは2名を選定し、配置できる者であること。<br>詳細については、「(2) 配置技術者等の要件」を参照すること。 |
| ⑤  | 中信4市（松本市、安曇野市、塩尻市、大町市）において、学校教育法第1条による施設の延床面積が4,000㎡以上の改築または増築（※1）の設計業務の実績（※2）があること。                                                                                              |
| ⑥  | 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項または松本市財務規則（昭和3年規則第10号）第104条第1項の規定により入札に参加することができないとされた者でないこと。                                                                                      |
| ⑦  | 公告の日において、会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく会社更生手続開始の申立てまたは民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者ではないこと。                                                                                     |
| ⑧  | 松本市暴力団排除条例（平成24年条例第3号）第2条第2号に規定する暴力団員または同条例第6号第1項に規定する暴力団関係者ではないこと。                                                                                                               |
| ⑨  | 松本市、国及び他の地方公共団体において指名停止措置を受けていないこと。                                                                                                                                               |

※1 対象となる延床面積は、改築または増築部分とする。

また、建築基準法第2条第14号に規定する大規模な修繕および同第15号に規定する大規模な模様替えについては、当該面積を本事業で要求する増築または改築面積に換算できるものとする。

※ 2 基本設計および実施設計を元請けとして行ったものであり、平成 26 年 4 月 1 日から参加表明書類の提出期限である令和 6 年 1 月 25 日(木)までに当該業務が完了したものとする。

(2) 配置技術者等の要件

ア 管理技術者

- (7) 管理技術者は、各分野の設計業務の設計協力に係る業務を統括し、本業務の全体を統括する者をいう。
- (イ) 管理技術者は、1 名として、各分野の主任技術者を兼任することはできない。
- (ウ) 平成 26 年 4 月 1 日から参加表明書類の提出期限である令和 6 年 1 月 25 日(木)までに延床面積 2, 000 m<sup>2</sup>以上の学校教育法第 1 条による施設の改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務の実績があるものとする。

イ 主任技術者

(7) 各分野の業務内容

| 分野     | 業務内容                                |
|--------|-------------------------------------|
| 意匠担当   | 建築物の意匠に関する設計および構造、設備に関する設計をとりまとめる設計 |
| 構造担当   | 建築物の構造に関する設計                        |
| 電気設備担当 | 建築部の電気設備に関する設計                      |
| 機械設備担当 | 建築物の給排水衛生設備、空調換気設備および昇降機等に関する設計     |

- (イ) 主任技術者は、管理技術者の下で各分野における担当技術者を総括する役割を担う者をいう。
- (ウ) 各分野の主任技術者は、1 名もしくは 2 名として、他分野の主任技術者を兼任することはできない。
- (エ) 平成 26 年 4 月 1 日から参加表明書類の提出期限である令和 6 年 1 月 25 日(木)までに延床面積 2, 000 m<sup>2</sup>以上の学校教育法第 1 条による施設の改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務の実績があるものとする。
- (オ) 各分野の主任技術者は、協力者（以下、「協力事務所」という。）から配置することができることとする。

(3) 協力事務所

- ア 参加者は、必要に応じて協力事務所を設けることができることとする。
- イ 協力事務所の選定にあたっては、十分な能力を有するものを選定するとともに、自らの責任において指導すること。

また、**協力事務所届（様式第 5 号）**を提出すること。

ウ 協力事務所の資格要件

(7) 建築事務所に必要な要件

- a 建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）による建築士事務所の登録がある者であること。

ｂ 配置する担当者は、建築士法上、当該対象物件に対応できるものであること。

(イ) 設備事務所に必要な要件

建築士法（昭和２５年法律第２０２号）による設備設計一級建築士または建築設備士が１名以上所属していること。

(ウ) 建築事務所および設備事務所の共通要件

前記の３プロポーザルの参加資格要件、①参加者の資格等、⑥～⑨を全て満たすこと。

#### 4 日程（予定）

| 日時または期間                                | 内容                    |
|----------------------------------------|-----------------------|
| 令和６年１０月２９日(火)                          | 公告                    |
| 令和６年１０月３１日(木)から<br>令和６年１１月１４日(木)午後５時まで | 参加資格に関する質問書の受付期間      |
| 令和６年１１月２１日(木)                          | 参加資格に関する質問書の回答期限      |
| 令和６年１０月３１日(木)から<br>令和６年１１月２５日(月)午後５時まで | 参加表明書(第一次審査書類)の受付期間   |
| 令和６年１２月５日(木)                           | 第一次審査結果の通知            |
| 令和６年１２月６日(金)から<br>令和６年１２月１０日(火)午後５時まで  | 現地見学会の参加表明書の受付期間      |
| 令和６年１２月１３日(金)                          | 現地見学会                 |
| 令和６年１２月９日(月)から<br>令和６年１２月１６日(月)午後５時まで  | 技術提案書に関する質問書の受付期間     |
| 令和６年１２月２６日(木)                          | 技術提案書に関する質問書の回答期限     |
| 令和７年１月６日(月)から<br>令和７年１月１７日(金)午後５時まで    | 技術提案書(第二次審査書類)の受付期間   |
| 令和７年１月３０日(木)・３１日(金)                    | プレゼンテーションの実施、審査委員会の審査 |
| 令和７年２月５日(水)                            | 契約候補者の決定              |
| 令和７年２月１４日(金)                           | 第二次審査結果の通知            |
| 令和７年２月下旬                               | 契約締結                  |
| 令和７年２月下旬                               | 業務の開始                 |

※ 日程に変更がある場合は、松本市ホームページに掲載する。

#### 5 実施要領等の配布

令和６年１０月２９日(火)に実施要領および参考資料等を松本市ホームページに掲載する。

様式は、必要に応じダウンロードして使用すること。

## 6 質疑の受付および回答

本プロポーザルの実施に関する質問（参加資格および技術提案書）については、以下のとおりとする。

### (1) 質疑受付期間

#### ア 参加資格に関する質疑

令和6年10月31日(木)から令和6年11月14日(木)午後5時まで

#### イ 技術提案書に関する質疑

令和6年12月9日(月)から令和6年12月16日(月)午後5時まで

### (2) 回答期限

#### ア 参加資格に関する回答

令和6年11月21日(木)

#### イ 技術提案書に関する回答

令和6年12月26日(木)

### (3) 提出方法および回答方法

#### ア 提出方法

参加資格に関する質問書（様式第11号）または技術提案書に関する質問書（様式第12号）により作成のうえ、事務局へ電子メールで提出した後、事務局に電話して着信を確認すること。

#### イ 回答方法

松本市ホームページに掲載する。

## 7 現地見学会

### (1) 受付

#### ア 受付期間

令和6年12月6日(金)から令和6年12月10日(火)午後5時まで

#### イ 提出方法

参加を希望する場合は、**現地見学会参加表明書（様式第10号）**により作成のうえ、事務局へ電子メールで提出した後、事務局に電話して着信を確認すること。

当日の詳細については、別途メールにて通知する。

### (2) 現地見学会

#### ア 場所

松本市立丸ノ内中学校 松本市宮渕3丁目6-1

#### イ 日時（予定）

令和6年12月13日(金)

(7) 1回目 午前8時40分から午前10時まで

(イ) 2回目 午前10時20分から午前11時40分まで

(ウ) 3回目 午後1時から午後2時20分まで

(エ) 4回目 午後2時40分から午後4時まで

(オ) 5回目 午後4時20分から午後5時40分まで

#### ウ 参加人数

1事業者につき3名以内とすること。

## エ 駐車場

駐車場に余裕がないため、乗り合わせで来校すること。

## オ 当日の受付方法

**現地見学会参加表明書（様式第10号）**のコピーを現地にいる市の職員へ提出すること。

## カ 注意事項

(7) 現地調査時は、学校活動の妨げにならないよう注意すること。

(イ) カメラ等による撮影は、可能とするが、生徒および学校関係者、並びに生徒の氏名等個人情報が掲示されている場所等は、被写体として写らないよう十分に注意すること。また、撮影した画像等は、本事業以外の使用を禁止する。

(ウ) 見学時は、本事業に関する質問は受け付けない。

なお、質問がある場合は、質問書を受付期間内に提出すること。

## 8 審査方法

(1) 本プロポーザルは、公募型プロポーザルとし、二段階方式で実施する。

(2) プロポーザルの審査項目は、次に掲げるものとし、「松本市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」第8に基づき、「松本市立丸ノ内中学校改築事業基本計画・基本設計業者審査委員会」（以下「審査委員会」という。）が審査し選定する。

## 9 第一次審査

### (1) 審査内容

参加表明書を提出した者のうち、評価の合計点が高いものから技術提案書の提出者として5者程度を選定する。ただし、評価の合計点が同点となった場合は、この限りではない。

なお、評価項目および配点は、以下のとおりとする。

### (2) 評価項目

あらかじめ事務局にて、評価項目①および②の採点、集計を行い、審査委員会に提出して審査する。

| 評価項目および配点（100点満点） |    | 区分      |    | 配点 |
|-------------------|----|---------|----|----|
| ① 配置予定の技術者の資格     | 20 | 担当主任技術者 | 意匠 | 5  |
|                   |    |         | 構造 | 5  |
|                   |    |         | 電気 | 5  |
|                   |    |         | 機械 | 5  |
| ② 配置予定技術者の業務実績    | 80 | 管理技術者   |    | 30 |
|                   |    | 担当主任技術者 | 意匠 | 20 |
|                   |    |         | 構造 | 10 |
|                   |    |         | 電気 | 10 |
|                   |    |         | 機械 | 10 |



### (3) 審査基準

#### ① 配置予定の技術者の資格（様式第4号）

各担当主任技術者について、保有資格が資格評価表のいずれかであるかにより配点（5～1）する。

資格評価・配点表

| 分野 | 評価する技術者資格等                | 配点 |
|----|---------------------------|----|
| 意匠 | 一級建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士 | 5  |
|    | 二級建築士                     | 2  |
| 構造 | 構造設計一級建築士                 | 5  |
|    | 一級建築士                     | 3  |
|    | 二級建築士                     | 1  |
| 電気 | 建築設備士、技術士、設備設計一級建築士       | 5  |
|    | 一級建築士                     | 3  |
|    | 一級電気工事施工管理技士              | 1  |
| 機械 | 建築設備士、技術士、設備設計一級建築士       | 5  |
|    | 一級建築士                     | 3  |
|    | 一級管工事施工管理技士               | 1  |

※ 「技術士」の資格は、当該分野における技術士とする。

#### ② 配置予定技術者の業務実績

各配置予定技術者の平成26年4月1日から参加表明書類の提出期限である令和6年11月25日(木)までに当該業務が完了した実績を評価する。

ただし、実績と本業務の分担業務分野は、同じであること。

配点計算については、②配置予定の各技術者の業務実績（配点）×同種・類似業務（係数）×実績評価（係数）で算定した値（小数点第2位までとして、四捨五入する。）とする。ただし、次のア、イの係数表に該当しない場合は、0点とする。

また、各配置予定技術者の配点合計は、小数点第1位を四捨五入する。

#### ア 同種・類似業務の係数表

| 種類 | 内容                                                    | 係数   |
|----|-------------------------------------------------------|------|
| 同種 | 延床面積4,000㎡以上の小中学校における改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務 | 1.0  |
|    | 延床面積2,000㎡以上の小中学校における改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務 | 0.75 |

| 種類 | 内容                                                                         | 係数   |
|----|----------------------------------------------------------------------------|------|
| 類似 | 延床面積 4, 0 0 0 m <sup>2</sup> 以上の小中学校以外における改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務 | 0.5  |
|    | 延床面積 2, 0 0 0 m <sup>2</sup> 以上の小中学校以外における改築、増築または大規模修繕・模様替えの基本設計および実施設計業務 | 0.25 |

イ 実績評価の係数表

| 過去の実績での立場 | 管理技術者の実績評価の場合 | 主任担当技術者の実績評価の場合 |
|-----------|---------------|-----------------|
| 管理技術者     | 1.0           | 1.0             |
| 主任担当技術者   | 0.6           | 1.0             |
| 担当技術者     | 0.3           | 0.6             |

(4) 第一次審査結果の通知

審査の結果については、令和6年12月6日(金)に全ての参加者に対して、参加表明書に記載したメールアドレス宛てに電子メールで通知する。  
(ただし、参加および審査状況により、変更となる場合がある。)

(5) 提出件数

参加表明書は、1事業者につき1件とする。

(6) 提出書類

- ア 参加表明書 (様式第1号)
- イ 設計業務実績調書 (様式第2号)
- ウ 管理技術者の経歴書 (様式第3号)
- エ 主任担当技術者の経歴書 (様式第4号)
- オ 協力事務所届 (様式第5号)
- カ 一級建築士事務所の登録証の写し
- キ 資格所有を証明する書類(資格者証の写し等)
- ク 常勤または社員を証明する書類 (保険証の写し等)
- ケ 履行期限、対象延べ面積、業務実績を証明する書類(PUBDIS、確認申請図書等)

(7) 提出部数

3部 (正1部、副2部)

(8) 提出期限等

ア 提出期間

令和6年10月31日(木)から令和6年11月25日(月)午後5時まで

イ 提出方法

(7) 提出先は、事務局とし、持参または郵送によるものとする。

(イ) 持参の受付時間は、平日の午前9時から午後12時まで、午後1時から午後5時までとする。

また、書類確認を行うため、事前に来庁時間を予約すること。

(ウ) 郵送の場合は、書留郵便として、令和6年11月25日(月)までの消印があるものを有効とする。

また、宛名記載面に「プロポーザル参加表明書類在中」と朱書きすること。

## 10 第二次審査

### (1) 審査内容

技術提案書等の審査およびプレゼンテーション・ヒアリングの内容を踏まえ、審査委員会委員が次の事項を審査する。

審査結果により、評価点が最も高い提案者から第1位契約候補者、第2位契約候補者として選定する。

なお、審査の結果、技術評価点が70%（560点）に満たない場合は、契約候補者として選定しない。

また、技術評価審査において、全参加者が失格となった場合には、全参加者に対して再提案を求める。

### (2) 評価項目および配点

1,000点満点【内訳】一次審査点100点（10%）、  
技術評価点800点（80%）、価格評価点100点（10%）

#### ア 一次審査

| 評価項目             | 評価の着目点 | 評価事項         | 配点   | 配点内訳 |
|------------------|--------|--------------|------|------|
| 配置予定の技術者の資格・業務実績 | —      | 配置予定の技術者の資格  | 100点 | 20点  |
|                  |        | 配置予定技術者の業務実績 |      | 80点  |

#### イ 二次審査

##### (7) 技術評価

| 評価項目      | 評価の着目点        | 評価事項                      | 配点   | 配点内訳 |
|-----------|---------------|---------------------------|------|------|
| 1 業務の実施方針 | 業務の理解度および取組意欲 | (1)業務内容の理解度               | 160点 | 40点  |
|           |               | (2)業務背景の理解度               |      | 40点  |
|           |               | (3)手続きの理解度                |      | 40点  |
|           |               | (4)業務への積極性                |      | 40点  |
|           | 実施方針の的確性・実現性  | (1)業務の取組体制                | 160点 | 40点  |
|           |               | (2)設計チームの特徴（協力体制・業務分担体制）  |      | 40点  |
|           |               | (3)設計上の配慮事項等への的確性、独創性、実現性 |      | 80点  |

| 評価項目              | 評価の着目点                                | 評価事項                                                                                                   | 配点    | 配点内訳  |
|-------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 2 整備コンセプトに対する技術提案 | (1) 環境に配慮し、安心・安全に快適な生活を送ることができる校舎     | 設定したコンセプトに対する技術提案について、的確性（与条件との整合性がとれているかなど）、実現性（提案が理論的に裏付けされており、説得力のある提案となっているかなど）を考慮して提案ごとに総合的に判断する。 | 480 点 | 160 点 |
|                   | (2) 今日的な教育ニーズに対応し、地域等との連携や学校開放に配慮した校舎 |                                                                                                        |       | 160 点 |
|                   | (3) 学校活動等への影響を最小限に抑え、安全かつ円滑な工事計画      |                                                                                                        |       | 160 点 |
| 技術評価 合計           |                                       |                                                                                                        | 800 点 |       |

#### (イ) 価格評価

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| (最低提案見積額 ÷ 当該提案見積額) × 100 点 | 100 点 |
| 価格評価 合計                     | 100 点 |

#### ウ 第1次審査の評価点

第1次審査の評価点を採用する。

#### エ 業務実施方針および整備コンセプトに対する技術提案

提出された技術提案書、ヒアリングの内容を踏まえ、審査委員会により総合的に判断を行う。

#### オ 受託予定金額

**受託金額見積書（様式第9号）**に記載の受託予定金額のうち、最低金額を記載した者の評価点100点とする。その他の者の評価点は、下記により算出する。（小数点第2位までとする。（四捨五入））

##### 【算出方法】

価格点 = (最低受託予定金額 ÷ 当該受託予定金額) × 100 点

カ 総合点が同点の場合は、3 整備コンセプトに対する技術提案の評価が高い者を上位の者とする。

#### (4) 第二次審査結果の通知

審査の結果については、令和7年2月14日(金)に全ての参加者に対して、参加表明書に記載したメールアドレス宛てに電子メールで通知する。（ただし、参加および審査状況により、変更となる場合がある。）

#### (5) 提出件数

技術提案書は、1 事業者につき1件とする。

(6) 提出書類

- ア 技術提案書(様式第6号)
- イ 業務実施方針に関する提案書(様式第7号)
- ウ 整備コンセプトに関する提案書(様式第8号)
- エ 受託金額見積書(様式第9号)

(7) 提出部数

- 15部(正1部、副14部)
- ただし、受託金額見積書のみ、正1部とする。
- 副本は、社名が特定できる記載等除くこと。
- 各部クリップ止めとする。

(8) 提出期限等

ア 提出期間

令和7年1月6日(月)から令和7年1月17日(金)午後5時まで

イ 提出方法

- (7) 提出先は、事務局とし、持参または郵送によるものとする。
- (イ) 持参の受付時間は、平日の午前9時から午後12時まで、午後1時から午後5時までとする。  
また、書類確認を行うため、事前に来庁時間を予約すること。
- (ウ) 郵送の場合は、書留郵便として、令和7年1月17日(金)までの消印があるものを有効とする。  
また、宛名記載面に「プロポーザル技術提案書在中」と朱書きすること。

(9) 留意事項

- ア 技術提案書等は、公表する場合がある。ただし、本市と提出者との協議において、公表されることにより提出者の権利が著しく阻害されると認められる内容を除くものとする。
- イ 技術提案書等は、プロポーザルを行う必要な範囲内において複製、複写することができるものとする。
- ウ 技術提案書等に含まれる第三者の著作権の使用に関しては、提出者が第三者の承諾を得ること。
- エ 技術提案書は、文章での表現を原則とし、基本的考え方を簡潔に記述すること。なお、記入する文字の大きさは、図表を含め全て11ポイント以上とすること。
- オ 視覚的表現については、文章を補完するための必要最小限な範囲においてのみ認める。具体的な建物の設計またはこれに類する表現、詳細・細部の描き込みや、簡易でない表現は不可とする。

(10) 提案者プレゼンテーションの実施

提案書の内容について、以下のとおり技術提案書の提出者ごとにプレゼンテーションを行う。

ア 実施日(予定)

令和7年1月30日(木)・31日(金)

※詳細については、提案者に別途通知する。

イ 実施場所

松本市役所庁舎

ウ 出席者

実際の設計担当者となる者を含めて5名以内とする。

説明および質疑応答については、管理技術者または意匠主任担当技術者が行うこと。

エ プレゼンテーション・ヒアリング内容

技術提案書の評価項目②・③の内容について、1事業者当たり説明時間は、20分程度で説明すること。その後、質疑応答を20分程度行う。

説明は、パワーポイントを使用することを可とするが、説明内容は、技術提案書と同一とすること。

プロジェクター、スクリーン、マイクは、事務局で準備するが、パソコンは、提案者側で用意すること。

オ 失格事項

プレゼンテーションに参加しない場合や災害や交通機関の事故などのやむを得ないと判断される正当な事由がなく、指定時刻に遅れた場合は、失格とする。

## 11 設計委託業務の契約

- (1) 第1位契約候補者として決定した者と業務の詳細や必要な協議を行い、契約締結の交渉をする。
- (2) 第1位契約候補者との契約締結交渉の結果、合意に至らなかった場合または第1位契約候補者の本プロポーザルにおける失格事由もしくは不正と認められる行為が判明した場合は、順次、次の順位以降の者を繰り上げて、その者と契約の交渉を行う。
- (3) 契約手続は、松本市財務規則（昭和3年規則第10号）および関係規程に定めるところによるものとする。

## 12 提出書類の取扱い

- (1) 提出されたすべての書類は、返却しない。なお、提出された参加表明書は、技術提案書の提出者の選定以外に提出者に無断で使用しない。
- (2) 提出後の差し替えおよび追加・削除は認めない。  
ただし、提出書類の脱漏または不明確な表示等があり、市が変更を認めたときはこの限りではない。  
また、参加表明書および技術提案書に記載した配置予定の技術者は、原則として変更できない。ただし、病休、死亡、退職等のやむを得ない理由により変更を行う場合は、同等以上の技術者であるとの発注者の了解を得なければならない。
- (3) 情報公開は、松本市情報公開条例（平成13年12月20日条例第72号）に基づく。
- (4) 技術提案書の選定後に、提案内容を適切に反映した特記仕様書の作成のため、業務の具体的な実施方針について提案を求めることがある。



### 13 その他留意事項

- (1) 提出書類の作成、本プロポーザルの参加に要する費用は、全て提出者の負担とする。
- (2) 本プロポーザルの参加表明書を提出した後、参加を辞退する場合には、速やかにその旨と理由を記載した**参加辞退届（様式第13号）**を提出すること。
- (3) 本プロポーザルに参加を希望する参加者は、本業務の提案にあたって知り得た情報等について、一切の事項をいかなる場合も他の者に漏らすことを禁止する。また、当市から提供する資料についても、他の者に閲覧させること、複写させることおよび譲渡することを禁止する。
- (4) 本プロポーザルの参加者は、不知または内容の不明を理由として、異議を申立てることはできない。
- (5) 本手続きにおいて使用する言語および通貨は、日本語および日本国通貨とすること。
- (6) 次のいずれかに該当する場合は、失格とする。
  - ア 資格要件を満たさない者が書類を提出した場合
  - イ 提出書類に虚偽の内容を記載した場合
  - ウ 記載すべき事項の全部または一部が記載されていない場合、記載すべき事項以外の内容が記載されている場合
  - エ 提出する技術提案書について、提出前後に市の許可なしに第三者へ閲覧させた場合
  - オ 審査の公平性に影響を与える行為があったと審査委員会が認めた場合
  - カ 審査委員会、事務局関係者に、本プロポーザルに関して不正な接触または要求をした場合
  - キ その他、審査委員会が不適格と認めた場合

### 14 工事受注資格の喪失

本業務の受注者（協力事務所を含む）および本業務の受注者と資本・人事面等において関連があると認められる製造業者または建設業者は、本事業に係る全ての工事の入札参加または工事（下請け工事を含む。）を請け負うことはできない。

### 15 計画地の概要

#### 用途地域等

- (1) 所在地 松本市宮渕3丁目6-1
- (2) 敷地面積 約24,088㎡
- (3) 用途地域等

|       |                   |
|-------|-------------------|
| ①区域区分 | 市街化区域             |
| ②用途地域 | 第一種中高層住居専用地域      |
| ③建ぺい率 | 60%＋10%（角地）       |
| ④容積率  | 200%              |
| ⑤防火指定 | 指定なし（建築基準法第22条区域） |

|                    |                                                                         |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ⑥周辺道路              | 市道 1 0 1 0 号線（1 級）<br>同 1 5 4 8 号線（2 級）<br>同 1 5 4 6 号線<br>同 1 0 0 9 号線 |
| ⑦松本市景観計画<br>景観類型地区 | 松本北地区                                                                   |
| ⑧埋蔵文化財包蔵地          | 城山腰遺跡                                                                   |

## 16 計画概要

### (1) 改築の必要性

丸ノ内中学校の校舎は、昭和 2 6 年 3 月から昭和 3 2 年 3 月にかけて建設され、建築後 6 7 ～ 7 3 年が経過し、老朽化が進んでいる。

令和 3 年度に耐力度調査を実施し、国の改築補助の基準に達していることが確認できたため、校舎の老朽化への対応、教育環境の改善を目的とした改築を行う。

なお、体育館、柔剣道場、プールは、健全建物であることから、改築は行わないが、改修についての検討は行う。

### (2) 改築対象施設

教室棟および管理棟など 5, 1 1 9 m<sup>2</sup>

### (3) 改築想定面積 約 5, 3 0 0 m<sup>2</sup>

### (4) 改築概算工事費 約 3 1 3, 0 0 0 万円

### (5) 事業スケジュール

令和 6 ・ 7 年度 基本計画・基本設計

令和 8 ・ 9 年度 実施設計

令和 9 年度 仮設校舎（グラウンドに建設予定）

令和 9 ～ 1 2 年度 改築工事

令和 1 3 年度 供用開始、仮設校舎撤去、グラウンド整備

### (6) 学校施設の現状

ア 丸ノ内中学校は、鉄筋コンクリート造校舎の標準設計（昭和 2 5 年）で建築された学校であり、以後に改築する学校のモデルになっていた。

当時の平均的な教室広さは、約幅 7 m、長さ 9 m であった。

イ 現在では、教室の机が新 J I S 規格になり、一回り大きくなったことや一人一台端末の導入に伴い、設備機器の配備、生徒同士の身体的距離を確保するなど教室が手狭になっている。

また、3 5 人の学級編成になっても、保護者参観時に保護者が教室に入れない状況にある。

ウ 学級毎の一斉の指導による授業のほか、少人数学習、グループ学習、複数学級や学年による学習活動の学習成果を発表することのできる多目的のスペースなどが必要になっている。

エ 教職員の人数が増え、職員室も手狭になり、環境改善が必要になっている。現在、事務机は、旧 J I S 規格のスチール机を使用している。

オ 降雨・降雪を防ぐため、開放渡り廊下から壁のある渡り廊下に改善が必要となっている。



(7) 生徒・クラス数の推移（推計）

3 5 人編成（R 6 . 5 . 1）

|              | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 小 計   | 特別支<br>援 | 合 計   |
|--------------|-----|-----|-----|-------|----------|-------|
| R 6 人数       | 6 4 | 6 2 | 8 1 | 2 0 7 | 2 3      | 2 3 0 |
| クラス          | 2   | 2   | 3   | 7     | 4        | 1 1   |
| R 7 人数       | 5 3 | 6 4 | 6 2 | 1 7 9 | 2 3      | 2 0 2 |
| クラス          | 2   | 2   | 2   | 6     | 4        | 1 0   |
| R 8 人数       | 6 0 | 5 3 | 6 4 | 1 7 7 | 2 3      | 2 0 0 |
| クラス          | 2   | 2   | 2   | 6     | 4        | 1 0   |
| R 9 人数       | 5 7 | 6 0 | 5 3 | 1 7 0 | 2 3      | 1 9 3 |
| クラス          | 2   | 2   | 2   | 6     | 4        | 1 0   |
| R 1 0 人<br>数 | 7 3 | 5 7 | 6 0 | 1 9 0 | 2 3      | 2 1 3 |
| クラス          | 3   | 2   | 2   | 7     | 4        | 1 1   |
| R 1 1 人<br>数 | 6 3 | 7 3 | 5 7 | 1 9 3 | 2 3      | 2 1 6 |
| クラス          | 2   | 3   | 2   | 7     | 4        | 1 1   |
| R 1 2 人<br>数 | 6 3 | 6 3 | 7 3 | 1 9 9 | 2 3      | 2 2 2 |
| クラス          | 2   | 2   | 3   | 7     | 4        | 1 1   |
| R 1 3 人<br>数 | 6 8 | 6 3 | 6 3 | 1 9 4 | 2 3      | 2 1 7 |
| クラス          | 2   | 2   | 2   | 6     | 4        | 1 0   |
| 改築時          | 3   | 3   | 3   | 9     | 4        | 1 3   |

※生徒の推計値は、住基数－調整数（29人）で算出している。

17 学校施設の在り方について

(1) 松本市の学校施設の現状と課題

ア 人口減少

人口減少より、年々生徒数が減少していることから、将来を見据えた統廃合や他の公共施設との複合化の検討を行ったうえで、各学校施設の改築に臨んでいくことが重要になっている。

イ 施設の老朽化

施設全体のうち、築30年以上の建物が全体の8割以上を占めており、老朽化により安全性・機能面に支障が多く出始めている。

ウ 社会情勢の変化

学級数は、特別支援学級の増加により、横ばいとなっている。

そのため、様々な子ども達に合わせた学習形態が必要であり、単一的な教室しか持ち合わせない現在において、ICT教育、少人数学習、新学習指導要綱、特別支援学級等の様々な学びの姿に施設が対応できていない現状にある。また、感染症の流行や教職員の働き方改革、地域ニーズ等が目まぐるしく変化する予測が難しい時代への対応も今後の課題となっている。

## (2) 学校施設の目指すべき姿

新しい時代や社会情勢に柔軟に対応し、校舎全体どこでも学びが発見できる学都松本の舎

### ア 学び

- (7) 個別・集団学習、アクティブラーニング、インクルーシブ教育などの多様な学びに柔軟に対応できる可変性のある施設
- (イ) 無線LANなどのICT環境を整備し、どこにいても不便なく一人一台の端末が利用できる環境
- (ウ) 生徒が集まりやすく、情報が集約され、自主的・自発的な学習が展開できる空間
- (エ) 働き方改革に対応した十分なスペースが確保された職員室（フリーアドレス化など）

### イ 生活

- (7) ユニバーサルデザインを取り入れ、エレベーターやスロープなどが設置され、誰もが使いやすいバリアフリーに対応した施設
- (イ) 空調設備、多目的トイレ、LED照明、木質内装、使いやすい更衣室などによる快適な空間
- (ウ) 開放的な廊下、ラウンジ、テラスなどを設けることにより、教職員、生徒の交流や憩いの場を創出

### ウ 共創

- (7) 地域コミュニティの拠点として、学校と地域が共に支えあい、創造的な活動が生まれる仕組みづくり
- (イ) 学校を中心とした施設の複合化による高機能・多機能化
- (ウ) 地域への開放、第三者の利用に対応した施設、システムの整備
- (エ) 生徒数に合わせた統廃合や義務教育学校への転換など

### エ 安全

- (7) 十分な耐震性能を確保し、水害や土砂災害への対策、非構造部材の耐震化など防災機能の強化
- (イ) 災害時の避難拠点として、非常用自家発電機、情報通信環境の整備
- (ウ) 老朽化対策を施したメンテナンス性の良い、質の高い施設
- (エ) 生徒が安心して過ごせるよう、情報セキュリティ教育の推進、防犯設備のある施設

### オ 環境

- (7) 高断熱化、高効率機器の導入、太陽光発電設備の増設など脱炭素社会の実現に貢献
- (イ) 省エネ基準の達成
- (ウ) 国産材を利用した木質化による環境との共生および温かみのある内装などの整備

## 18 技術提案に求めるコンセプト

### (1) 環境に配慮し、生徒が安心して安全に快適な生活を送ることができる校舎の提案

再生可能エネルギーの導入、高断熱性の確保や高効率機器の導入など環境に配慮したエネルギー消費の効率化と経済性を兼ね備えた校舎とすること。また、耐震性の向上や防犯対策、地震や浸水等に対する防災機能の強化、生徒、教職員の保健衛生およびユニバーサルデザインの採用に配慮し、生徒、教職員が安心して安全に快適な生活を送ることができる校舎の提案を求める。

### (2) 今日的な教育ニーズに対応し、保護者・地域との連携や学校開放に配慮した校舎の提案

多様な学習形態や集団による活動が可能であり、インクルーシブ教育、ICT化の推進など今日的な教育ニーズに対応した校舎にすること。また、将来の生徒数減少を見据えた学校、家庭、地域の連携に基づく様々な利用に配慮した校舎の提案を求める。

### (3) 生徒、教職員の学校活動等への影響を最小限に抑え、安全かつ円滑な工事計画

工事期間中に発生する交通障害、騒音、振動等による生徒、教職員の学校活動等への影響を最小限に抑え、生徒および教職員の安全かつ円滑な動線を考慮した工事計画（工事工程、工事中の安全対策）およびイニシャルコスト削減に努めた工事計画の提案を求める。

## 19 委託内容

主な内容については、次のとおりとして、詳細については、仕様書（案）を参照すること。

### (1) 基本計画の策定

丸ノ内中学校の伝統と歴史および既存施設並びに計画敷地、計画建物の概要をまとめるとともに、施設規模、施設数、所要室の構成、必要な設備や機能、構造について検討し、丸ノ内中学校全体の配置およびレイアウト図（各階平面図・立面図・断面図・仮設計画図等）の作成を行う。

また、土地利用計画、ゾーニング図を作成し、建替え計画図および工事期間中の安全計画、工程ごとの仮設計画図を作成する。

### (2) 校舎の基本設計

ア 丸ノ内中学校改築に係る校舎の建設、既存校舎等の解体、工事中の仮設計画および屋外運動場整備の策定にかかる業務。

イ 都市計画法、建築基準法等関係法規、長野県福祉のまちづくり条例、建築物省エネ法、建設リサイクル法、松本市景観条例、文化財保護法、その他必要法規・条例等に関する検討業務。（建築確認申請、開発関係協議などにかかる各課協議等の作業等含む）

ウ 地盤調査、土質調査、アスベスト調査、PCB調査

エ パース製作

(3) 学校、保護者、地域とのワークショップ

基本計画、基本設計を進めるにあたって、学校（生徒、教員）、保護者、地域住民等を対象とした会議、説明会等を開催し、意見を聞き、設計に反映させる。また、これらの資料作成、記録簿の作成等を行う。

20 参考資料

施設台帳（配置図、平面図）